

# 85 吉野川源流の森



## 1. 森林の状況

面積：830ha

標高：750～1,880m

森林の種類：人工林7%天然林93%

主な樹種：ヒノキ・モミ・ツガ・ブナ（針葉樹52%広葉樹48%）

林齢：95～215年

制限林の指定：

石鎚国定公園 昭和30年

水源かん養保安林 昭和35年

瓶ヶ森自然休養林 昭和49年

## 2. 水源の状況

種類：流水（吉野川）、ダム貯水（長沢ダム、早明浦ダム）

利用状況：水道230戸 410人、香川県と徳島県の約100万人の水道水を供給、高知県を含む四国3県で水道水、農業用水、工業用水を供給

水源の流量：59,000m<sup>3</sup>/日

## 3. 地域の概況

石鎚山系を源に発する吉野川の源流域で、「四国のいのち」と言われる早明浦ダム上流にあり、その豊富な水量は幹川流路延長194kmにも及ぶ本流を形成しており、地元のみならず、遠く香川県や徳島県の水源にもなっています。

樹齢100年を超えるウラジロモミやブナ等の天然林が広がり、秋の紅葉が実に見事です。石鎚国定公園内にあるこの地区は、瓶ヶ森自然休養林として整備され、下流にはキャンプ場もあり大自然の中で多くの観光客に広く親しまれています。その他、約70km（石鎚山から白髪山）にも及ぶ石鎚山系緑の回廊（原生的な天然林や貴重な野生動物の生息・生育地等を保全・管理するための保護林）としても設定されています。

また、源流の森地元（いの町本川）では、春先には源流河原で「あめご釣り大会」、夏には氷室から藩主に氷を献上したことに由来する「氷室まつり」、吉野川源流の恩恵を感謝する「吉野川源流本川まつり」が開催され、多くの観光客等で賑わっています。

所在地：高知県吾川郡いの町大字寺川字寺川山

## 4. アクセス

鉄道：JR土讃線「高知駅」下車、タクシー2時間30分で白猪谷入口、徒歩2時間30分で源流部

車：高知自動車道「伊野IC」から2時間で白猪谷入口